



# 図工室から

## VOL 9

令和5年11月22日  
馬橋小学校



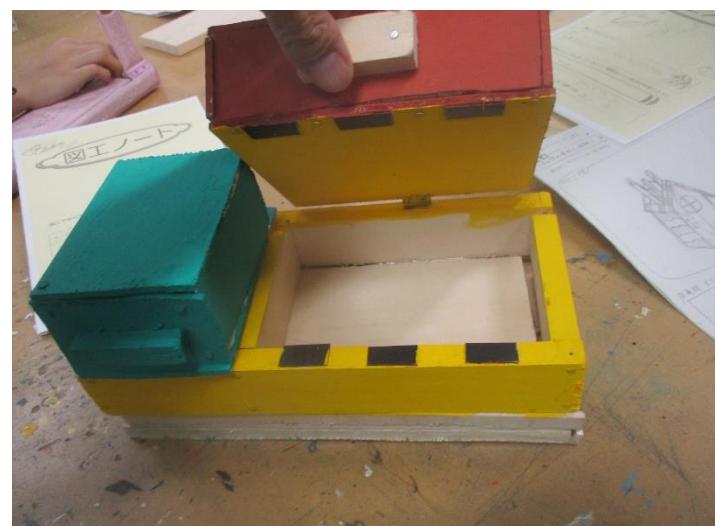
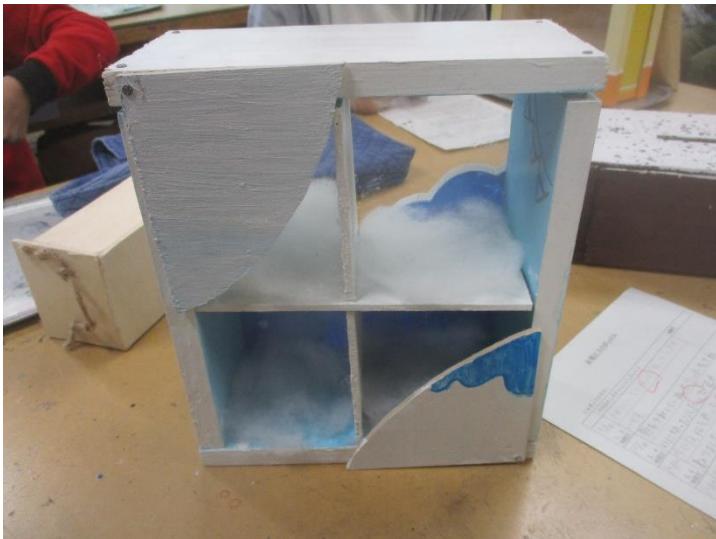
第九回の「図工室から」は、6年生の「私のお気に入りボックス」を紹介します。

日常生活で役立つ木製の箱をデザイン、設計から行い制作する題材です。木材で箱を制作する場合、板の厚みによってくぎが使えるのか、ボンドで接着するのかなど組み立ての手段を変えなければならなかつたり、切断を正確に行えなかつたときに寸法を臨機応変に変更しなければならなかつたりと、様々な技術的制約があります。それらを乗り越えて自分の表したい形、作りたい仕組みを作品にすることはとても難しいですが、6年生の子供たちは手先と頭をフル稼働して意欲的に取り組みました。

引き出しの動きがスムーズになるようにやすり掛けにこだわる子。スライド式や回転式など蓋の開き方を工夫する子。丸い形の箱を木材の組み方を工夫して作る子。

木箱に自分だけの個性を出そうと、子どもたちは楽しい発想を膨らませてつくっていました。一生懸命作った作品たち。きっとお家で活躍することでしょう。





馬橋小学校 図工専科 直本 鉄平